

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 477

|      |             |     |                       |      |       |
|------|-------------|-----|-----------------------|------|-------|
| 所管部局 | 美山支所        | 所管課 | 産業建設課                 | 担当者名 | 中野 修  |
| 事業名  | 都市と農村との交流事業 |     |                       | 事業分類 | ソフト事業 |
| 細事業名 | 都市と農村との交流事業 |     |                       | 政策体系 | 247   |
| 会計   | 一般会計        | 科目  | 7. 商工 - 1. 商工 - 3. 観光 |      |       |

## 1. 事業の概要

全国の旅行会社と提携し、修学旅行と農村交流を組み合わせた独特のプランを提供して、修学旅行生を受け入れ、観光客の増加を図る。

## 2. 事業の目的と必要性

### ① 施策で目指す目標との関連付け

地域特性を活かした田舎体験で、都市と農村との交流を推進することで地域経済の活性化と、交流人口増加による地域振興を目標とする。

### ② 事業を実施する必要性

市内の観光入込客は、京阪神等の近場から、日帰りで見られる中高年が中心で、観光消費額に結びつきにくい現状がある。そこで新たな客層の開拓として、遠方から宿泊を伴う、若者を対象とした誘客としてここ数年修学旅行に力を入れている。ここ数年修学旅行を遊びの時間としてではなく、普段できない経験、見られないものを見るなど学習の一環として利用されることが増えてきており、観光と体験の両方が求められてきている。本市は全国的に修学旅行を受け入れる京都市から移動可能な距離にありながら全く違う雰囲気を持っているので「京都市内で観光」「南丹市で田舎体験」とセットでの誘致がしやすく、また、競合する地域も無い。修学旅行誘致により「田舎体験料金」「宿泊」「食事」「特産品販売」など、直接的な地域への経済効果なども大きく、都市と農村との交流事業の必要性は高い。

## 3. 事業費の推移

|                         | 単位       | 平18決算 | 平19決算 | 平20決算 | 平21決算 | 平22予算 | 平23計画 | 平24計画 |
|-------------------------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 決算額または計画額               | 千円       | 2,491 | 827   | 568   | 505   | 256   | 512   | 512   |
| うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等 | 千円       | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 財源内訳                    | 使用料・手数料等 | 千円    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
|                         | 国・府支出金   | 千円    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
|                         | 地方債      | 千円    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
|                         | 一般財源     | 千円    | 2,491 | 827   | 568   | 505   | 256   | 512   |
| 職員等の従事人員                | 人/年      | —     | —     | 0.30  | 0.17  |       |       |       |
| 人件費                     | 千円       | —     | —     | 1,739 | 1,105 |       |       |       |
| 事業費総額                   | 千円       | —     | —     | 2,307 | 1,610 |       |       |       |

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

都市農村交流事務消耗品 152,648円  
 都市農村交流啓発パネル材料 24,685円  
 都市農村交流イベント記念品 31,560円  
 都市農村交流体験用品 295,890円

## 5. 事業結果の概要

地域の自然を活かした田舎体験等による、都市と農村との交流を啓発し、平成22年度に4校（約500人）の修学旅行生の予約が取れた。

## 6. 活動の詳細

| 活 動 内 容   | 活動日又は時期                  | 活 動 結 果 等                                |
|---|--------------------------|--|
| <b>(1) 都市と農村との交流事業啓発</b>                                    |                          |  |
| ●修学旅行現地見対応 次年度実施の修学旅行の現地見の対応                                | 2月24日<br>3月26日           | 教育旅行会社の担当者に対して現地案内と体験紹介をしたため、修学旅行実施決定。   |
| ●都市と農村との交流受入検討会議 田舎体験施設と都市と農村との交流の受入について検討会議を実施             | 11月17日<br>12月3日<br>1月22日 |  |
| ●都市と農村との交流事業啓発 美山ふるさと祭りにてパネル展示により都市と農村との交流事業の啓発             | 11月3日                    |  |
| ●都市と農村との交流事業啓発 京都観光宣伝販売促進会議にて、旅行会社の企画担当者に南丹市での取り組みを説明し送客を依頼 | 9月9日～9月11日               | 教育旅行会社の担当者に取り組みを説明し、今後の候補地にしてもらえることとなった。 |

## 7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

都市と農村との交流事業の一環として、田舎体験型の修学旅行は、地域の経済効果と活性化に大きく寄与している。  
美山町は国内の主要観光地の京都市から近くにあることから、関東・北信越の都市部の中学校の修学旅行先としてニーズが高い状況にあり、今後、事業拡大をしていくために受け入れの組織体制の確立が必要である。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
都市と農村との交流事業の一環としての田舎体験型の修学旅行は、地域の経済波及効果と活性化に大きく寄与しており、体験メニューも幅広く検討を加えた。
- ②当該事業のアピール事項  
ここ数年、年間5校・約500人の修学旅行生を受け入れ、地元への経済波及効果は約1千万円となっており、地元住民との交流による活性化も図れている。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
修学旅行の事業拡大を行うために、受け入れの組織体制の確立が必要である。